

定住自立圏構想

中心市宣言書



平成25年9月26日

函館市

定住自立圏中心市宣言

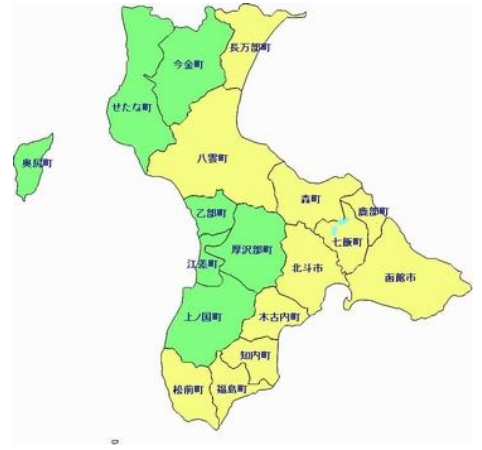
函館市は、津軽海峡に面した北海道の南端部に位置し、三方を海に囲まれ、函館山を要として扇状に広がる市街地を形成しています。

早くから陸・海・空の交通の要衝となり、国内外の玄関口として栄え、道南における行政、経済、文化の中核都市としての役割を担ってきました。

また、函館山からの夜景や異国情緒あふれる町並みは年間 450 万人が訪れる国内有数の観光地として、さらに、イカ、コンブなどの海産物は日本屈指の水揚げを誇ることで知られています。

本市を含む渡島・檜山管内の 18 市町、北斗市、松前町、福島町、知内町、木古内町、七飯町、鹿部町、森町、八雲町、長万部町、江差町、上ノ国町、厚沢部町、乙部町、奥尻町、今金町、せたな町からなるこの道南地域は、風光明媚な自然と豊かな農林水産資源に恵まれ、北海道では最も早く道外から人が渡ってきた地域であり、北方開拓の歴史における大きな足跡を今に残しています。

また、経済活動や福祉、教育などの分野における、住民の通勤通学、買い物をはじめとした日常生活での結びつきはもちろんのこと、各種協議会の設置や観光、医療における連携など、行政区を越えて多くの分野で相互に深い関係を築いている地域となっています。



全国的に人口減少が進行する今日、地方圏の将来人口予測は、少子化・高齢化とも相まってその見通しは極めて厳しく、道南地域における約 20 年後（2035 年）の将来人口は、現在の約 47 万人から約 35 万人にまで減少すると推計されていることから、各自治体の生活機能や経済基盤の維持は、ますます難しくなっていくことが想定されます。

今後は、生活圏・経済圏をともしにする 18 市町において、互いにまちの機能を補完し合い、地域における共通の課題解決や産業の振興に取り組み、人口定住を促進することはもとより、来る北海道新幹線の開業を間近に控え、圏域外の人々にとっても、訪れてみたい、住んでみたいと思われる魅力あふれる圏域を創っていくことが、ますます必要となってきます。

このようなことから、函館市は、定住自立圏構想に基づく「中心市」として、周辺自治体それぞれの持つ個性を尊重しながら各種の連携を進め、地域の活力を維持・向上させ、住民が安心安全に暮らすことのできる圏域づくりに取り組んでいくことを宣言します。

平成 25 年（2013 年）9 月 26 日

函館市長 工藤 壽 樹

1 函館市における都市機能の集積状況

公共施設等による各種サービス機能，中核的な医療機能，商業機能，その他行政および民間分野における都市機能の集積状況は概ね以下のとおりであり，定住自立圏を形成する中心市としての都市機能を有している。

※下表中の数値（施設数等）は平成24年度末現在

分野	都市機能	主な施設
行政	国	〔総務省〕北海道管区行政評価局函館行政評価分室 〔法務省〕函館少年刑務所，函館少年鑑別所，函館地方検察庁，函館地方法務局，札幌入国管理局函館港出張所 〔財務省〕函館税関，函館税務署，北海道財務局函館財務事務所 〔厚生労働省〕函館労働基準監督署，函館公共職業安定所，国立函館視力障害センター 〔農林水産省〕北海道農政事務所函館地域センター，北海道森林管理局函館事務所 〔国土交通省〕函館運輸支局，函館開発建設部，函館海上保安部，函館地方海難審判所，函館海洋气象台，第一管区海上保安本部函館航空基地，東京航空局函館空港事務所 〔防衛省〕陸上自衛隊函館駐屯地，海上自衛隊函館基地隊
	裁判所	函館地方裁判所，函館家庭裁判所，函館簡易裁判所
	北海道	渡島総合振興局，北海道教育庁渡島教育局，北海道立総合研究機構水産研究本部函館水産試験場，北海道立函館高等技術専門学院，北海道警察函館方面本部，函館中央警察署，函館西警察署，函館運転免許試験場，北海道立函館美術館，北海道立工業技術センター，函館湾浄化センター
医療機関	公的医療機関	独立行政法人国立病院機構函館病院，市立函館病院，市立函館恵山病院，市立函館南茅部病院
	初期救急医療機関	函館市夜間急病センター
	第2次救急医療機関	独立行政法人国立病院機構函館病院，市立函館病院，市立函館恵山病院，市立函館南茅部病院，函館赤十字病院，函館中央病院，函館五稜郭病院，函館市医師会病院，共愛会病院，北海道社会事業協会函館病院，函館渡辺病院，高橋病院，健和会大村病院，富田病院，雄心会函館新都市病院，函館脳神経外科病院
	第3次救急医療機関	市立函館病院救急救命センター
	周産期母子医療センター	市立函館病院，函館中央病院
	がん診療連携拠点病院	市立函館病院
	災害拠点病院	市立函館病院
	市内医療機関	病院 29 機関，診療所 227 機関，歯科診療所 136 機関

分野	都市機能	主な施設
教育	高等学校	道立高等学校 7 校，市立高等学校 1 校，私立高等学校 8 校
	大学	北海道大学大学院水産科学研究所・水産科学院・水産学部，北海道教育大学教育学部函館校，公立ほこだて未来大学，函館大学
	短期大学・高専	函館短期大学，函館大谷短期大学，函館工業高等専門学校
	専修学校	函館看護専門学校，函館厚生院看護専門学校，函館市医師会看護専門学校，函館臨床福祉専門学校，函館歯科衛生士専門学校，函館医療福祉専門学校，ロシア極東連邦総合大学函館校
	養護学校等	函館盲学校，函館聾学校，北海道教育大学附属特別支援学校，函館養護学校，函館五稜郭支援学校
文化	文化・学習施設	函館市中央図書館，市立函館博物館，函館市公民館，青少年研修センター，函館市青年センター，箱館奉行所，縄文文化交流センター，旧函館区公会堂，北方民族資料館，北洋資料館，文学館，市民会館，芸術ホール
	スポーツ施設	市民体育館，千代台公園陸上競技場，千代台公園野球場，千代台公園庭球場，日吉サッカー場，根崎公園ラグビー場，市民プール，千代台公園弓道場，根崎公園アーチェリー場，すずらんの丘公園パークゴルフ場，恵山シーサイドパークゴルフ場，湯川海水浴場，入舟町前浜海水浴場，市民スケート場
商業	大規模小売店舗	店舗床面積 1,000 m ² 以上の店舗 75 店舗
	金融機関	〔銀行〕 51 店舗 〔証券会社〕 2 店舗
産業	産業支援	北海道立工業技術センター，産業支援センター，北海道立函館高等技術専門学院
	工業団地	函館テクノパーク，函館臨空工業団地，港町ふ頭港湾関連用地
交通	ターミナル駅	J R 函館駅
	都市間バス	函館⇄札幌（北都交通，道南バス，北海道バス，北海道中央バス）
	路線バス	函館バス（市内 113 路線）
	市電	函館市企業局（湯の川～谷地頭・函館どつく前）
	空港	函館空港⇄東京，名古屋，大阪（関西・伊丹），札幌（丘珠・新千歳），奥尻，ソウル（仁川），台北（桃園），ユジノサハリンスク
	港湾	函館港（外貿コンテナ取扱港）
	国道	5 号，227 号，278 号，279 号
その他	観光・レクリエーション施設	函館山ロープウェイ，函館朝市，五稜郭タワー，金森倉庫群・ベイエリア，道立道南四季の杜公園，白石公園ほこだてオートキャンプ場，宿泊施設（ホテル・旅館等）235 施設

2 周辺自治体住民の都市機能の利用状況

(1) 市立函館病院地域別患者数

自治体名	通院患者数 (人)	利用率 (%)	入院延べ患者数 (人)	利用率 (%)
函館市	177,518	61.20	113,682	60.33
北斗市	47,030	16.21	25,801	13.69
松前町	4,977	1.72	5,548	2.94
福島町	2,894	1.00	1,854	0.98
知内町	3,422	1.18	2,146	1.14
木古内町	3,142	1.08	2,226	1.18
七飯町	19,222	6.62	12,223	6.49
鹿部町	2,688	0.93	1,999	1.06
森町	10,666	3.68	8,100	4.30
八雲町	4,264	1.47	3,708	1.97
長万部町	839	0.29	1,063	0.56
江差町	2,769	0.95	2,104	1.12
上ノ国町	2,322	0.80	1,710	0.91
厚沢部町	2,636	0.91	1,621	0.86
乙部町	1,621	0.56	1,054	0.56
奥尻町	773	0.27	632	0.34
今金町	1,230	0.42	992	0.52
せたな町	2,061	0.71	1,977	1.05
合計	290,074	100.00	188,440	100.00

※上記のほか圏域外より通院 4,658 人, 入院 3,817 人

(平成 24 年度 市立函館病院調べ)

(2) 函館市への救急搬送件数

消防本部等		搬送件数 (件)	比率 (%)
函館市		13,161	74.7
南渡島消防 事務組合	北斗市, 七飯町, 鹿部町	3,303	18.7
渡島西部広域 事務組合	松前町, 福島町, 知内町, 木古内町	478	2.7
森町		292	1.7
八雲町		91	0.5
長万部町		27	0.1
檜山広域 事務組合	江差町, 上ノ国町, 厚沢部町, 乙部町, 奥尻町, 今金町, せたな町	277	1.6
合計		17,629	100.0

(平成 24 年 各消防本部等調べ)

(3) 函館市夜間急病センター利用状況

自治体名	通院患者数 (件)	利用率 (%)
函館市	14,593	76.6
北斗市	2,633	13.8
松前町	16	0.1
福島町	7	0.0
知内町	70	0.4
木古内町	51	0.3
七飯町	1,137	6.0
鹿部町	119	0.6
森町	264	1.4
八雲町	47	0.2
長万部町	6	0.0
江差町	20	0.1
上ノ国町	18	0.1
厚沢部町	32	0.2
乙部町	9	0.1
奥尻町	8	0.0
今金町	5	0.0
せたな町	11	0.1
合計	19,046	100.0

※ほか圏域外利用者 702 人
(平成 24 年度 市保健所調べ)

(4) 函館市中央図書館利用登録状況

自治体名	登録者数 (件)	利用率 (%)
函館市	103,708	89.8
北斗市	5,247	4.5
松前町	111	0.1
福島町	81	0.1
知内町	113	0.1
木古内町	213	0.2
七飯町	4,673	4.0
鹿部町	166	0.1
森町	480	0.4
八雲町	245	0.2
長万部町	23	0.0
江差町	193	0.2
上ノ国町	57	0.1
厚沢部町	123	0.1
乙部町	49	0.1
奥尻町	7	0.0
今金町	32	0.0
せたな町	29	0.0
合計	115,550	100.0

(平成 24 年度 市中央図書館調べ)

3 圏域自治体と連携が想定される取り組み

(1) 生活機能の強化

① 医療

- ・ 安心、安全な生活を確保するため、圏域住民への医療サービスの提供や救急医療体制の維持、確保に取り組む。

② 観光振興

- ・ 開業する北海道新幹線を生かし、圏域としての魅力を高めるため、広域での観光ルートの開発や観光宣伝などに取り組む。

(2) 結びつきやネットワークの強化

① 域内交流の促進

- ・ 北海道新幹線開業を契機とした圏域内の人口交流の促進を図るため、交通アクセスの充実に取り組む。

② 道路等インフラの整備

- ・ 圏域での交通の円滑化、利便性の向上、物流の効率化を図るため、基幹道路のネットワーク整備に取り組む。

③ 国際化の推進

- ・ 国際的視野から地域の結びつきを強め、圏域の活性化を図るため、国際化や国際的な感覚を持った人材の育成に取り組む。

(3) 圏域マネジメント能力の強化

① 圏域自治体の職員等の交流

- ・ 圏域自治体職員の育成を図るため、研修の相互活用などに取り組む。

4 函館市への通勤通学割合が0.1以上である周辺自治体

自治体名／区分	常住する通勤者・通学者（人） ※自宅従事者を除く	うち函館市への通勤者・通学者（人）	通勤通学割合（％）
北 斗 市	21,537	10,011	46.5
木古内町	1,973	266	13.5
七 飯 町	12,055	5,321	44.1
鹿 部 町	1,462	185	12.7

(平成22年国勢調査)

5 上記4のほか、定住自立圏構想を推進するため連携の意思を有する自治体

- ・松前町
- ・福島町
- ・知内町
- ・森町
- ・八雲町
- ・長万部町
- ・江差町
- ・上ノ国町
- ・厚沢部町
- ・乙部町
- ・奥尻町
- ・今金町
- ・せたな町